

歌麿まつり

第9回

歌麿の最高傑作と評される「深川の雪」・「品川の月」・「吉原の花」の三部作は、歌麿が栃木に滞在し、描いたと言われています。歌麿と深い縁のあるまち 栃木へようこそ。

歌麿の愛したまちとちぎ



The 9th Utamaro Festival

~Tochigi, The Town Deeply Appreciated by Utamaro~

令和元年 (2019年)

10/26(土) - 11/4(月・振休)

開催場所: とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺

国際交流「歌麿道中」

歌麿の描いた華やかな「おいらん」が登場します。今回は、日本人・外国人両方の出演者による国際色豊かな歌麿道中を開催。

11/2(土) 13:00~ 巴波川会場(塚田歴史伝説館付近)
15:00~ 蔵の街大通り会場(山車会館付近)

※荒天中止の場合は11月3日(日)に延期
※解説ナレーションについて、英語による同時通訳が行われます。
※巴波川会場のみ車椅子専用の観覧スペース、手話による同時通訳を設けます。ご利用の方は、歌麿を活かしたまちづくり協議会(栃木市総合政策部蔵の街課内) ☎0282-21-2573、FAX 0282-21-2674 までお申し込みください。

喜多川歌麿 肉筆画大作「深川の雪」・「品川の月」・「吉原の花」高精細複製画展示

10/1(火) ~ 栃木市役所4階
展示時間 平日 8:30~17:15
土・日・祝日 10:00~16:00(最終入場15:30)

※歌麿まつり終了後も栃木市役所4階で展示します。(12月1日(日)まで)

歌麿まつり特別公開 喜多川歌麿肉筆画 11/2(土)~4(月・振休)

「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」 とちぎ蔵の街美術館
9:00~17:00(入館は16:30まで) 観覧料:無料
※10月1日(火)から「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」の複製画を、とちぎ歌麿館に展示。
喜多川歌麿肉筆画(部分) ▶
上から順に「鍾馗図」「三福神の相撲図」「女達磨図」とちぎ蔵の街美術館所蔵



主催: 歌麿を活かしたまちづくり協議会 ■共催: 栃木市、栃木市教育委員会
■後援: 朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、栃下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、栃エフエム栃木、栃木ケーブルテレビ、栃とちぎテレビ、栃栃木放送、東武鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)高崎支社 ■協賛: 青木ソバ粉(株)、栃アベニュー、飯沼銘銀(株)、栃大木組、おおきこどもクリニック、大木生コン(株)、ぎやうりいぜん(株)、NPO法人蔵の街遊覧船、じょりんぼ、株タイショー、ダスキンドリ、株タスク、TCB観光(株)、ドイツビール祭り実行委員会、東和アークス(株)、栃木市観光ボランティア協会、栃木信用金庫、永谷音楽事務所、株日本旅行、福富税務会計事務所、株フットワーク、三谷商事(株)、八重桜の会、ヤマサン木材(株)、早稲田大学栃木稲門会(※50音順) ■協力: イデア教育文化研究所、キモノマイハウス、栃木市国際交流協会

問合せ先
歌麿を活かしたまちづくり協議会
(栃木市総合政策部蔵の街課内) ☎0282-21-2573
(一社) 栃木市観光協会 ☎0282-25-2356
とちぎ蔵の街美術館 ☎0282-20-8228